

## 高2数学 基本問題演習 36. 平面ベクトル(2)

1

$\triangle ABC$ において、 $A=60^\circ$ 、 $B=90^\circ$ 、 $AB=4$ である。

- (1)  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC}$  (2)  $\overrightarrow{BA} \cdot \overrightarrow{BC}$  (3)  $\overrightarrow{BC} \cdot \overrightarrow{CA}$  を求めよ。

2 [ I. 2004 静岡大 II. 2004 工学院大 III. 2007 国士舘大 ]

I. 2つのベクトル  $\vec{a}=(1, x)$ 、 $\vec{b}=(2, -1)$  について、次の問いに答えよ。

- (1)  $\vec{a}+\vec{b}$  と  $2\vec{a}-3\vec{b}$  が垂直であるとき、 $x$ の値を求めよ。  
 (2)  $\vec{a}+\vec{b}$  と  $2\vec{a}-3\vec{b}$  が平行であるとき、 $x$ の値を求めよ。  
 (3)  $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  のなす角が  $60^\circ$  であるとき、 $x$ の値を求めよ。

II.  $\vec{a}=(2, 0)$ 、 $\vec{b}=(x, 2)$ 、 $\vec{c}=(3, 4)$  とする。

$\vec{a}$ 、 $\vec{b}$  のなす角と、 $\vec{b}$ 、 $\vec{c}$  のなす角が等しいとき、 $x$ の値を求めよ。

III. 平面ベクトル  $\vec{a}$  は大きさが  $3\sqrt{5}$  で、平面ベクトル  $\vec{b}=(-1, 2)$  に垂直である。 $\vec{a}$  を求めよ。

3 [(1) 2006 青山学院大 (2) 1999 関西大 (3) 2019 京都産業大 (4) 2015 駒澤大]

(1) ベクトル  $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$  のなす角が  $30^\circ$  で、かつ  $|\vec{a}|=2$ 、 $|\vec{b}|=3$  であるとする。このとき、

$\vec{a} \cdot \vec{b} = \text{ア}$  ,  $(\vec{a}-\vec{b}) \cdot (3\vec{a}+2\vec{b}) = \text{イ}$  ,  $|\vec{a}-\sqrt{3}\vec{b}| = \text{ウ}$   である。

(2) ベクトル  $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$  が  $|\vec{a}|=\sqrt{3}$ 、 $|\vec{b}|=2$ 、 $|\vec{a}-\vec{b}|=\sqrt{13}$  を満たしているとき、 $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$  の内積  $\vec{a} \cdot \vec{b}$  および、 $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$  のなす角  $\theta$  ( $0^\circ \leq \theta < 180^\circ$ ) を求めよ。

(3)  $\triangle ABC$  において  $AB=7$ 、 $BC=5$ 、 $CA=3$  とする。内積  $\overrightarrow{CA} \cdot \overrightarrow{CB}$  の値は  である。

(4) 1 辺の長さが 1 の正三角形  $ABC$  において、辺  $BC$  の三等分点を  $P$ 、 $Q$  とするとき、 $\overrightarrow{AP} \cdot \overrightarrow{AQ}$  の値を求めよ。

## 高2数学 基本問題演習 36. 平面ベクトル(2)

4 [(1) 2009 立命館大 (2) 2017 東京都市大]

(1)  $\vec{a} = (-4, 3)$ ,  $\vec{b} = (3, 1)$  に対して,  $|\vec{a} + t\vec{b}|$  を最小にする実数  $t$  の値は  $\overset{ア}{\square}$  で, そのときの最小値は  $\overset{イ}{\square}$  である. また, このとき  $\vec{a} + t\vec{b}$  と  $\vec{b}$  とのなす角を  $\theta$  とすると  $\theta = \overset{ウ}{\square}$  である.

(2) ベクトル  $\vec{a} = (1, 1)$ ,  $\vec{b} = (2, -1)$  に対し,  $\vec{p} = (1-t)\vec{a} + t\vec{b}$  とおく. 実数  $t$  が  $0 \leq t \leq 1$  を満たしながら動くとき,  $|\vec{p}|$  の最大値と最小値をそれぞれ求めよ.

5 [2008 慶応義塾大]

$\triangle OAB$  において,  $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$ ,  $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$  とする.  $|\vec{a}| = 3$ ,  $|\vec{b}| = 2$ ,  $|\vec{a} - 2\vec{b}| = \sqrt{7}$  のとき

(1)  $\vec{a} \cdot \vec{b}$  の値は  $\square$  である. (2)  $\triangle OAB$  の面積は  $\square$  である.

6 [Ⅱ. 2021 摂南大]

I.  $\triangle OAB$  の重心を点  $G$  とし,  $|\overrightarrow{OA}| = 3$ ,  $|\overrightarrow{OB}| = 2$ ,  $\angle AOB = 60^\circ$  とする.

(1)  $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB} = \square$ ,  $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OG} = \square$  である.

(2)  $|\overrightarrow{OG}| = \square$  である.

(3)  $\angle AOG = \theta$  とすると,  $\cos \theta = \square$  である.

Ⅱ. 中心  $O$ , 半径 1 の円に内接する三角形  $ABC$  があり,  $2\overrightarrow{OA} + 4\overrightarrow{OB} + 5\overrightarrow{OC} = \vec{0}$  を満たしているとき, 次の問いに答えよ.

(1) 直線  $CO$  と辺  $AB$  の交点を  $D$  とする. このとき,

$$\overrightarrow{OD} = \frac{\overset{ア}{\square}}{\overset{イ}{\square}} \overrightarrow{OA} + \frac{\overset{ウ}{\square}}{\overset{エ}{\square}} \overrightarrow{OB} \text{ である.}$$

(2)  $\frac{DB}{AD} = \frac{\overset{オ}{\square}}{\overset{カ}{\square}}$ ,  $\frac{OD}{OC} = \frac{\overset{キ}{\square}}{\overset{ク}{\square}}$  である.

(3)  $\overrightarrow{OA}$  と  $\overrightarrow{OB}$  のなす角を  $\theta$  とするとき,  $\cos \theta = \frac{\overset{ケ}{\square}}{\overset{コ}{\square}}$  である.

## 高2数学 基本問題演習 36. 平面ベクトル(2)

7 [ I. 2015 甲南大 II. 2004 小樽商科大 III. 2010 岐阜聖徳学園大 ]

I.  $AB=3$ ,  $AC=2$ ,  $\angle BAC=\frac{\pi}{3}$  である  $\triangle ABC$  において,  $\overrightarrow{AB}=\vec{b}$ ,  $\overrightarrow{AC}=\vec{c}$  とする。

このとき, 点 A から辺 BC に垂線 AP を引くと,  $\overrightarrow{AP}=\text{ }^{\text{r}}\square\vec{b}+\text{ }^{\text{i}}\square\vec{c}$  である。

II.  $\triangle OAB$  において,  $OA=2$ ,  $OB=3$ ,  $AB=4$  である. 点 O から辺 AB に下ろした垂線を OH とする.  $\overrightarrow{OA}=\vec{a}$ ,  $\overrightarrow{OB}=\vec{b}$  とおくと,  $\overrightarrow{OH}$  を  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$  で表せ.

III. 1 辺の長さが 1 の正方形 ABCD の辺 CD の中点を E とし, 点 F を  $BE \perp AF$  となる BE 上の点とする.  $\overrightarrow{AB}=\vec{a}$ ,  $\overrightarrow{AD}=\vec{b}$  とおく.

- (1)  $\overrightarrow{AF}$  を  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$  で表せ. (2) DF の長さを求めよ.

8 [ I. 2008 群馬大 II. 兵庫県立大 ]

I.  $\triangle OAB$  の 3 辺の長さを  $OA=OB=\sqrt{5}$ ,  $AB=2$  とする. また,  $\overrightarrow{OA}=\vec{a}$ ,  $\overrightarrow{OB}=\vec{b}$  とする。

- (1) 内積  $\vec{a} \cdot \vec{b}$  を求めよ.  
 (2) 点 B から直線 OA に下ろした垂線と直線 OA との交点を P とするとき,  $\overrightarrow{OP}$  を  $\vec{a}$  を用いて表せ.  
 (3) 点 O から直線 AB に下ろした垂線と直線 BP との交点を Q とするとき,  $\overrightarrow{OQ}$  を  $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  を用いて表せ.

II. 三角形 OAB について,  $OA=\sqrt{2}$ ,  $OB=\sqrt{3}$ ,  $AB=2$  とする. 点 O から辺 AB に下ろした垂線の足を L, 辺 OB に関して L と対称な点を P とする.  $\vec{a}=\overrightarrow{OA}$ ,  $\vec{b}=\overrightarrow{OB}$  とおく.

- (1)  $\vec{a} \cdot \vec{b}$  を求めよ. また,  $\overrightarrow{OL}$  を  $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  で表せ.  
 (2)  $\overrightarrow{OP}$  を  $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  で表せ.

## 高2数学 基本問題演習 36. 平面ベクトル(2)

9 [(1) 2021 京都大 (2) 1997 滋賀大]

(1)  $\triangle OAB$  において  $OA=3$ ,  $OB=2$ ,  $\angle AOB=60^\circ$  とする。 $\triangle OAB$  の垂心を  $H$  とするとき、 $\overrightarrow{OH}$  を  $\overrightarrow{OA}$  と  $\overrightarrow{OB}$  を用いて表せ。

(2)  $\triangle ABC$  において、 $AB=2$ ,  $AC=3$ ,  $\angle A=60^\circ$ ,  $\overrightarrow{AB}=\vec{b}$ ,  $\overrightarrow{AC}=\vec{c}$  とする。このとき、 $\triangle ABC$  の外心を  $O$  として、 $\overrightarrow{AO}$  を  $\vec{b}$  と  $\vec{c}$  を用いて表せ。

10 [ I. 2011 埼玉大 II. 2016 東京海洋大 III. 2011 鹿児島大 ]

I. 各辺の長さが 0 でない三角形  $ABC$  に対し、

$$P(A) = \overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC}, \quad P(B) = \overrightarrow{BC} \cdot \overrightarrow{BA}, \quad P(C) = \overrightarrow{CA} \cdot \overrightarrow{CB}$$

とおく。

- (1)  $P(B) = P(C)$  を満たすとき、この三角形はどのような三角形か。
- (2)  $P(A)P(B) = P(C)P(A)$  を満たすとき、この三角形はどのような三角形か。

II.  $\triangle ABC$  に対し、 $\vec{a} = \overrightarrow{AB}$ ,  $\vec{b} = \overrightarrow{BC}$ ,  $\vec{c} = \overrightarrow{CA}$  として、

$$\vec{p} = |\vec{a}|\vec{b} + |\vec{b}|\vec{c} + |\vec{c}|\vec{a}$$

によって  $\vec{p}$  を定めるとき、次の問いに答えよ。

- (1)  $\vec{p} = \vec{0}$  は  $\triangle ABC$  が正三角形であるための必要十分条件であることを証明せよ。
- (2)  $\vec{p} = \vec{a}$  かつ  $|\vec{p}| = 4$  のとき、 $\cos \angle ABC$  の値を求めよ。

III. 四角形  $ABCD$  に対して次の ① と ② が成り立つとする。

$$\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{BC} = \overrightarrow{CD} \cdot \overrightarrow{DA} \quad \dots\dots \text{①}$$

$$\overrightarrow{DA} \cdot \overrightarrow{AB} = \overrightarrow{BC} \cdot \overrightarrow{CD} \quad \dots\dots \text{②}$$

このとき、四角形  $ABCD$  は向かい合う辺の長さが等しくなる (すなわち平行四辺形になる) ことを示せ。